

2018 冬 vol.11

ティーンズコーナー情報紙
年4回発行の季刊紙です。

近隣図書館コラボ企画!

冬のオススメ! テーマ「家族」

吉祥院図書館から

『ファインディング ゴビ』

ディオン・レナード 著
出版：あすなる書房
ゴビ砂漠を走る過酷なウルトラマラソンに挑む著者は、並走して離れない子犬に出会い、家族に迎えようと決心します。でも、家族になるには困難な壁が立ちはだけり…ハラハラ、奇跡のノンフィクション!

洛西図書館から

『空へのぼる』

矢東 澄子 著
出版：講談社
命の重さを感じられる一冊です。守るべき人の存在や、大切な人からもらった言葉で、**一步踏み出す勇気**が持てます。私は12章目の恋人の言葉に胸がつかまれました。人間味あふれる言葉のエネルギーを感じてください。

西京図書館から

『懐かしい食堂あります』

似鳥 航一 著
出版：KADOKAWA
東京下町で評判の「みけねこ食堂」を営む大家族谷村家。ところが、後継ぎの長男が突然隠し子を置いて失踪。急きょ失業中のイタリアンシェフの次男柊一が切り盛りする。ライバル店のたくらみや、常連客への対応。個性的な弟3人と喧嘩しながら奮闘する。**なにより、出てくる料理がおいしそう!! (料理も個性的!)**

久世ふれあいセンター
図書館から

『有頂天家族』

森見 登美彦 著
出版：幻冬舎
矢三郎は狸の名門・下鴨家の三男。狸界を束ねていた父が、狸鍋にされてしまった。『**阿呆の血**』をひく息子たちの奮闘。父への尊敬、母の愛、兄弟の絆が心に沁みる。狸と天狗と人間が京都の町で巻き起こす大騒動。

右京中央図書館から

『紙の動物園』

ケン・リュウ 著
出版：早川書房
母が包装紙で折った動物たちは、みな命を吹き込まれたように動いていた。しかし、僕の心が母から遠ざかるほどに……。異なる文化との相互理解の困難さを「家族」で描いた表題作『紙の動物園』を含む7編のSF短編集。

2018.12 発行
京都市右京中央図書館 <https://www2.kyotocitylib.jp>
〒616-8104
京都市右京区太秦下刑部町12番地 サンサ右京3階
☎ 075 (871) 5336
休館日：火曜日 年末年始（12月29日～1月4日）
開館時間：平日・・・午前9時30分～午後8時30分
土日祝・・・午前9時30分～午後5時

ティーンズコーナー〈展示〉

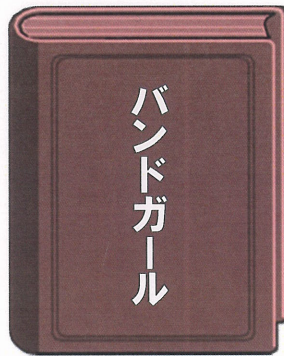
12～3月のテーマ

音楽は音の結晶



天才たちのつくった
音楽の世界

出版：辰巳出版



バンドガール

濱野京子 著
出版：借成社



世界に彩りを与えたともいえる天才作曲家たち。彼らの生涯も作詞だけでなく、音楽家同士で決闘にまで発展してしまった意外なエピソードも紹介しています。

近未来。ドラムをはじめた少女、沙良の成長と、彼女の生きる時代を描く物語です。志村貴子のやさしいタッチのイラストも魅力的です。

その名は、主人公

〈NEWあらいぶ! (新着)〉
などから、本の主人公を紹介します。



オーストラリアに暮らす
“マット・A”

『Matt』

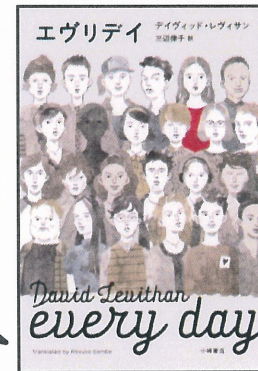
岩城 けい / 著
出版：集英社



『あこがれ』

川上 未映子 著
出版：新潮社

”絵が得意な
”麦彦
”と
”やんちゃ娘の
”へガタイー
”



毎日だれかのからだ
で目覚める
“A”

『エブリデイ』

デイヴィッド・レヴィサン / 作
三辺 律子 / 訳
出版：小峰書店

その他にも...etc.

- ・『ぼくがバイオリンを弾く理由』西村すぐり著 (ポプラ社)
- ・『文化系のためのヒップホップ入門』長谷川町蔵著 (アルテスパブリッシング)
- ・『学校では教えてくれない人生を変える音楽』雨宮処凛ほか著 (河出書房新社)
- ・『ロック豪快伝説』大森庸雄著 (立東社)
- ・『音楽の仕事なり方完全ガイド』学研編著 (学研)
- ・『ロックTシャツミュージアム』(権出版社)

今回は、「音楽は音の結晶」というテーマで、音楽に関する本を集めました。クラシックにロックにEDM。奏でる楽器は違えども、きっとどの音も楽しいものです。色々な行事のあるこの季節、ふと聞こえてくる音楽に耳を傾けてみませんか。(き)